



水滸傳

五兩

13
769
5



門 連 15
 769
 卷 5

兩國
 癸卯

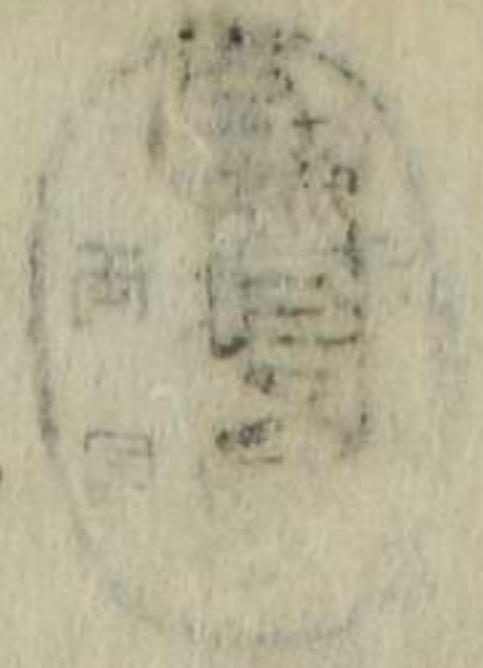
壹

近洲伊香郡小座の山の俗小まを志津嶽と吸做し其の岩琵琶湖と面あり余吾湖と昔小し只れのみわとせ余吾飯渾の二大河の山崩山崩相違と未幾前者板敷の方ふとあふ山鳴峰をたその景勢又唐山を梁山と似てん欽とて今この冊子を作詳之彼如く擬し近世寒葉齋綾足の本朝水滸傳を著しと近江の其の山とて梁山泊にせし塩焼王の故事小月と浪竹生嶋長命寺の嶋々もせさうは皆神の霊地なりあるも山百里のいこ厩のいこ厩といふれりも亦此意の且貞の強を根に烈女の發見易く亦勸懲の一端也那時謙倉小政子の京師ゆゑ龜菊の女主人奏より支起すを終り兼久の乱に至りてこれの時小政子義婦烈女の薄命を水滸の重言小摸擬するもの婦人の恰好を死如くのまるとせしや中む附く又續編を第三編の自注を自叙する也

大政十丁亥年春正月吉日新放曲亭馬琴識馬

明治二十六年十月十三日
 坪内好々氏寄贈

馬琴



東京千代田区大久保
 藤下町百拾貳番地
 好内雄藏























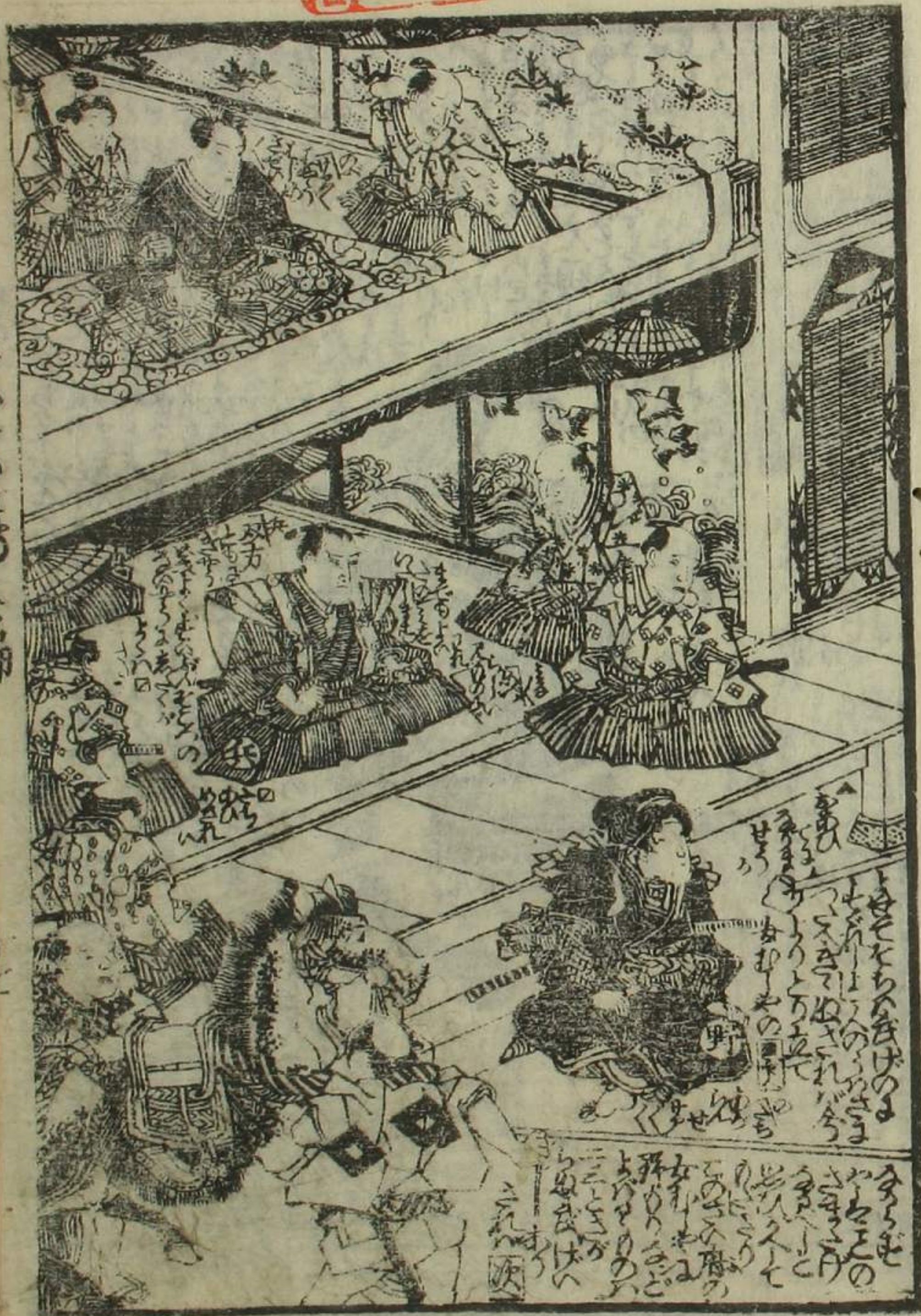




仙女香



東京生島大久保
新丁町
新番地
雄





十九
そのとらまはるるは
今世を只一とて
世の工



十九
そのとらまはるるは
今世を只一とて
世の工



正
本
物
心
元
可
國



賴豪阿闍梨怪鼠傳

前後十卷

曲亭馬琴作
葛飾北齋画

四天王剽盜異錄

前後十卷

歌川豐國画
曲亭馬琴作

うとふ安方忠義傳

前後八卷

山東京傳作
歌川豐國画

繪本淺間ヶ嶽

前後九卷

柳亭種彦作
蘭齋北嵩画

霜夜乃星

全五卷

柳亭種彦作
葛飾北齋画

荒川仁勇傳

前後十卷

為永春水作
歌川國丸画

和漢軍書諸家隨筆貸本所 江兩國吉川町中金堂釜屋又兵衛板

